

令和7年度第1回中央区区政会議 会議録

1. 日時 令和7年5月29日（木）午後6時30分～午後8時00分

2. 場所 中央区役所 7階703・704会議室

3. 出席者

（区政会議委員）

浅宮委員、兼岡委員、菊地委員、清田委員、葛本委員、小森委員、城委員、千田委員
高山委員、富田委員、中飯委員、古道委員、部奈委員、堀井委員、前田（葉）委員、
森田委員

（市会議員）

野上議員、塩中議員、鈴木議員

（中央区役所）

松田区長、小林副区長、平田総務課長、釜野魅力推進課長、
三島区政企画担当課長、大西市民協働課長、覺野市民活動支援・教育担当課長、
皆川窓口サービス課長、上野国保収納担当課長、塩谷保健福祉課長、
山内保健主幹、福田子育て支援・保育担当課長

（都市交通局）

蟻芝企画担当課長代理

（Osaka Metro）

葛西課長

3. 会議次第

1 開会

2 区長あいさつ

3 議題

（1）令和6年度中央区運営方針の実績・自己評価について

（2）大阪市中央区将来ビジョン2023-2027の改訂について

（3）令和7年度運営方針について

（4）その他

【三島区政企画担当課長】

定刻になりましたので、ただ今より令和7年度第1回中央区区政会議を始めさせていただきます。

本日は大変お忙しい中、ご出席賜りまして誠にありがとうございます。私は本日の司会を務めさせていただきます、区政企画担当課長の三島でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは開会にあたり、松田区長よりご挨拶を申し上げます。

【松田区長】

皆さん改めまして、こんばんは。

今、ご紹介いただきました。4月から区長として就任しております、松田彰久と申します。初めての方もいらっしゃると思います。何卒よろしくお願いいたします。

委員の皆様、並びに助言者であられる議員の皆様、大変お忙しい中、本日の区政会議にご出席賜り、誠にありがとうございます。

せっかくの機会でございますので、少しだけ自己紹介をさせていただきます。

私はこれまで31年間、JR西日本という鉄道会社に勤めておりまして、公募ということで、区長に応募いたしました。4月からこちらに入ったという次第でございます。生まれも育ちも大阪市内でして、東住吉の長居公園の近くに住んでいるのですけれども、大阪市の発展のために少しでも、力を尽くせないかと考えまして、公募に応募したという次第でございます。安全で安心できる、そして発展していく中央区を皆様と一緒に作り上げていく力になればと思っておりますので、何卒、皆様よろしくご指導いただければと思います。よろしくお願いいたします。

区政会議は、立案段階から皆様の意見を把握して反映していく、そして実績及び成果の評価と意見をお伺いするということを目的に、幅広い区民の皆様に参加をいただきまして行っている会議ということで、非常に素晴らしい取り組みだと、私自身も非常に楽しみにしております。

行政や地域の抱える課題というものは非常に複雑化、高度化しておりまして、皆様からのお声がいただける非常に貴重な機会だと思っております。

本日は説明を少しさせていただいた後に、グループに分かれて皆様から活発なご意見を賜る、そして全体でもそれを皆様と共有していく場と聞いております。ぜひ皆様のご意見をいただければ非常にありがたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

簡単でございますが、私からの挨拶とさせていただきます。今日はよろしくお願いいたします。

【三島区政企画担当課長】

ありがとうございました。

それでは議事に入ります前に、この度、委員の変更がございましたのでご報告と、新たに

ご就任いただいたお2人の委員をご紹介します。

恐れ入りますが、議事の都合によりお名前のご紹介のみとさせていただきます。

大阪商工会議所中央支部様からの申し入れがございまして、古川委員から小森委員に変更となりました。

また、大阪ガス株式会社様からの申し入れがございまして、清水委員から部奈委員に変更となりました。

小森委員、部奈委員、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、前回の区政会議以降に着任・異動のございました区役所職員を紹介させていただきます。

改めまして松田区長でございます。

【松田区長】

よろしくお願いします。

【三島区政企画担当課長】

平田総務課長でございます。

【平田総務課長】

平田でございます。よろしくお願いします。

【三島区政企画担当課長】

覺野市民活動支援・教育担当課長でございます。

【覺野市民活動支援・教育担当課長】

覺野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【三島区政企画担当課長】

塩谷保健福祉課長でございます。

【塩谷保健福祉課長】

塩谷です。どうぞよろしくお願いいたします。

【三島区政企画担当課長】

福田子育て支援・保育担当課長でございます。

【福田子育て支援・保育担当課長】

福田です。どうぞよろしくお願いいたします。

【三島区政企画担当課長】

それでは、本日会議で使用します資料の確認をお願いいたします。

なお、郵送にて送付させていただいた委員の皆様へは、資料については、お配りしております。メールにて事前送付させていただいた委員の皆様へは、印刷してお配りしております。

事前にお送りしております、お手元の「次第」の「2 配布資料」に記載のとおり、議題の資料として、本次第、令和7年度第1回区政会議構成員一覧表、右肩の資料番号、資料1－1、資料1－2、資料2－1、資料2－2、資料3－1、資料3－2、参考資料1、参考資料2となっております。

次に、本日、追加で配布させていただく資料として、議題の追加がございましたので、改めて本日の「次第」、「出欠者名簿」、「配席図」、「各グループの意見交換テーマ」、「AI オンデマンド交通社会実験の中央区での実施について」、「区政会議に関するアンケート」また、ご参考・ご案内として、「2025 大阪・関西万博パンフレット」、「EXPO2025 大阪ウィーク～春・夏・秋～イベントプログラム」「中央区クリーンアップデー清掃ボランティア募集のチラシ」、「子育て情報マップてくてくナビ」、「子育て支援パンフレット」、「安心子育て事業パンジーひろばのチラシ」、「ペアレントトレーニングのチラシ」、「中央区地域福祉ビジョン2023-2025 概要版」の計14点がございます。

また、アンケートをお配りしておりますが、アンケートにつきましては、会議終了後にご提出をどうぞよろしくお願いいたします。

資料は以上でございますが、事前にお送りした資料も含みまして、不足の資料等がございましたらご遠慮なくお申し出ください。手を挙げていただけましたら、事務局のものがお待ちいたします。

皆様、お揃いでしょうか。

この区政会議は、公開の会議でございます。傍聴や取材を許可しておりますこと、また、会議録作成用の録音や動画配信用の撮影などについて、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

それでは、議事に移ります。これより先の進行につきましては、前田議長をお願いいたします。前田議長、よろしくお願いいたします。

【前田（葉）委員】

議長を仰せつかっております、中央区地域振興会副会長の前田葉子でございます。不慣れではございますが、皆様のご協力を得ながら、最後までスムーズに進めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは着座にて進めさせていただきます。

まず本日の区政会議につきましては、委員定数20名のうち現時点における出席委員は16名でございます。条例第七条に基づく定足数にある2分の1以上を満たしておりますので、

本会議は有効に成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは議事に入ります。

本日は、議事進行の都合により、その他の「AI オンデマンド交通社会実験の中央区での実施」について先に行います。都市交通局より説明をお願いいたします。

【都市交通局 蟻芝企画担当課長代理】

皆さんこんばんは。大阪市都市交通局の蟻芝と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日は貴重な時間をいただきましてありがとうございます。

本日は今年の 10 月以降に中央区内で実施させていただく AI オンデマンド交通の社会実験について、実施事業者である Osaka Metro よりご説明をいただきます。

なお、すでに大阪城周辺など中央区の一部の地域では、Osaka Metro のオンデマンドバスが 10 月末までの期間限定で運行されておりますが、本社会実験は将来にわたり持続可能な交通の系統として、本市が民間事業者による社会実験として公募し、Osaka Metro グループが実施事業として起こされたものになります。

それでは Osaka Metro よりご説明いたします。

【Osaka Metro 葛西課長】

皆さんこんばんは、Osaka Metro の葛西と申します。よろしくお願いいたします。

こちらの資料でご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

1 ページをお願いいたします。オンデマンドバスにつきましては、あらかじめ決められた停留所をご予約いただく形での運行となります。具体的に申しますと、乗られる停留所、降りられる停留所、乗られる時間、こういったものをご指定いただきましてご予約をいただき、車があれば車をご配車いたします。時間につきましても、ジャストの時間でご案内できる場合もございますし、車がなければご案内できない、そういった場合もございます。あともう 1 つ、これは乗合バスでございますので、タクシーとは違いまして、必ずしも 1 人や 1 グループで乗るようなものではございません。

ご予約と申し上げましたが、どういう方法があるかと申しますと、当社のアプリでございますとか、お宅のパソコンでもご予約は可能です。そういったことが難しいということでしたら、当社のコールセンターをご用意しておりますので、お電話でご予約いただくことも可能となっております。

続きまして 2 ページをお願いいたします。運行区域でございますが、中央区の全域を予定してございます。運行時間につきましては、朝の 9 時から夜の 19 時までを予定してございます。こちらにつきましては、他区ですでに運行しております状況を見て、最も利用が多い時間として設定をさせていただいているところでございます。使用する車両につきましては、4 ページに写真を載せておりますので、後程ご覧いただきたいのですが、車椅子対応車両も含めた 4 種類の車両を組み合わせ、最大 12 台での運行を考えてございます。運行

開始当初につきましては、もうすこし少ない台数での運行を想定しているところでございます。運賃料金でございますが、大人 300 円、子供 150 円ということで、ご案内させていただいております。また 1 ヶ月乗り放題となりますデジタル定期券もアプリでは販売しております。

続きまして、3 ページをご覧くださいませでしょうか。中央区にこういった形で、乗降場所を設定して、それをバスで運行するという形になります。凡例を少しつけておりますが、青の点が今の既存の大阪シティバスのバス停でございます。オレンジ色の点が、オンデマンドバス専用の乗降場所としてこれから設定していくものでございます。この点でございますが、今置きそうなところを一旦提案としてピックアップをしているところでございまして、実際はこれよりも少ない形での設定をさせていただいて、需要を見ながら徐々に増やしていくような形を取らせていただければと考えてございます。ここでご説明させていただきたいのですが、オレンジの点がバーチャルの乗降場所です。いわゆる標柱というのが立っているものではございません。シェルターとかテントなどそういうものはなく、建物の前にデジタル上で場所を設定しておりまして、そちらの場所でお待ちいただくと、バスがお迎えに上がるといった停留所でございます。

5 ページをお願いいたします。この社会実験は、将来の事業化を見据えて事業として展開させていただきたいと私どもは考えてございます。つきましては先ほど申し上げました 300 円や 150 円の運賃収入に加えまして、それ以外の関連収入といったものにも組んでいきたいと考えてございまして、先ほど申し上げました停留所を企業とか、施設にもお借りいただいて、そこから料金をいただくという形で収入を得てこのバスを運行させていきたいと考えてございます。中央区内にも徐々に営業へ入らせていただいているところでございます。ぜひよろしくお願いいたします。

【前田（葉）委員】

はい、ありがとうございます。ただいまの報告について、ご意見、ご質問がございましたら伺いしたいと思っております。ご発言の方は挙手をお願いいたします。

千田委員、どうぞよろしくお願いいたします。

【千田委員】

民生委員の千田です。

僕は町会の活動もやっているのですけれども、例えば、町会で総会を開くときに、お年寄りがたくさんいる中で、30 人未満まではホテルの会場に連れて行って、それでまた終わってから連れて帰ってもらうというようなことが可能ですか。

【Osaka Metro 葛西課長】

お答えします。

4 ページにございますように、1 台につき定員が 8 人となっております。これは状況を見ながら追加していくので、まずはこの 8 人乗り、5 人乗りのバスでスタートさせていただいて、大きな需要がございましたらそういった需要にも対応していきたいと考えてございます。

【千田委員】

町会で 30 人弱を移動させるのに、バスをチャーターすると費用が掛かるので、30 人弱くらいのバスを運行していただいたら良いかと思います。

【前田（葉）委員】

他にございませんでしょうか。

兼岡委員、どうぞ。

【兼岡委員】

生涯学習の兼岡です。

中央区の中だけの利用になりますか。

【Osaka Metro 葛西課長】

お答えいたします。

森ノ宮、今度できる大阪公立大学の辺りまでバスを走らせようとしています。基本的には中央区内ともう 1 つ京橋の方面にも設定しておりますので、京橋辺りまでは行けます。

もう 1 つの質問でございますが、乗るところと降りるところを選択していただくという形式のバスですので、この 2 点間であれば、どこでもご注文をいただけます。

【兼岡委員】

線で囲まれた中央区内は行けるということですね。例えば、他の区に行きたい場合は無理ですか。

【Osaka Metro 葛西課長】

可能性があるとするば、乗り継いでいただくという形になります。区の境のところではどちらの区からも乗っていただけるようにしておりますので、運賃は新たにかかるのですけれども、予約が上手に繋がり乗り継いでいただければ乗っていただくことは可能でございます。

【兼岡委員】

わかりました、ありがとうございます。

【前田（葉）委員】

他にご質問の方はいらっしゃいませんか。

それではないようでございますので、この件につきましては、これで終了とさせていただきます。

【都市交通局 蟻芝企画担当課長代理】

今回の社会実験にあたりましては、先行実施区と同様に中央区や地域の皆様のご協力をいただきながら、進めて参りたいと思っておりますので、ご協力賜りますように何卒よろしくお願いいたします。以上でございます。

【前田（葉）委員】

ありがとうございます。

それでは、議題（１）の「令和６年度運営方針の実績・自己評価」について、区役所より説明をお願いします。

【三島区政企画担当課長】

それでは、「令和６年度中央区運営方針の実績・評価について」ご説明いたします。

資料は１－１「令和６年度中央区運営方針」（大阪市共有様式）、１－２「令和６年度中央運営方針の自己評価」（区政会議説明資料）の２点でございます。

資料１－２を用いてご説明をさせていただきます。表紙をめくっていただき裏面をご覧ください。

はじめに、運営方針について概略を記載しております。運営方針は、各所属における当該年度の施策の選択と集中の方針を明示し、その概要を示すものです。部門ごとに、めざすべき状態の実現に向けて、めざすべき成果の目標を測定可能な指標を用いて設定し、定期的に測定することで、取組の有効性をチェックし、改善や新たな展開につなげる PDCA サイクルの徹底を狙いとしています。そのため、毎年度の運営方針の自己評価（年度末振り返り）を実施し、当該年度の運営方針の改定や次年度の運営方針の策定、予算編成等のプランにつなげてまいります。

本日は、令和６年度中央区運営方針の自己評価について、委員の皆さまのご意見をお聞かせいただき、今後の区の取組に活かしてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、２ページをご覧ください。こちらは、資料１の令和６年度中央区運営方針の「目標、使命及び所属運営の考え方」、「自己評価、今後の方針」の記載内容をお示ししたものです。

目標とする「大阪を代表するビジネス・観光の拠点として多くの人でにぎわい、繰り返し訪れたくなる魅力的なまち、豊かなコミュニティのもと、ふれあい、支えあう、ずっと暮ら

し続けたいまちの実現にむけて、設定したアウトカム指標（経営課題の進捗度合を示した指標）は、7項目全てにおいて目標を達しており、中央区がめざす「ゆるやかにつながるまちづくり」の実現に向けて着実に進捗しているものと評価しております。

今後の方針については、本年4月に改定いたしました「中央区将来ビジョン 2025 年中間見直し版」における私たちがめざす将来像「世界中の人たちが繰り返し訪れたくなる“にぎわい”のまち」、「つながり、支え合う、ずっと暮らし続けたい“ふれあい”のまち」の実現に向けて、マンション等共同住宅の居住者が9割を超える中央区の特性をふまえ、住民同士のセーフティネットの構築にもつながるよう、それぞれのマンション住民・管理組合・管理会社（マンションコミュニティ）と、行政、地域コミュニティがゆるやかにつながり連携する“ゆるやかにつながるまち”を各施策共通の考え方とし、引き続き取り組んで参ります。

続きまして、3ページをご覧ください。こちらからは、各経営課題の戦略ごとのご説明となります。ページの上段の表には、令和6年度運営方針の課題認識、主な戦略（課題解決の方策）、アウトカム指標（経営課題の進捗度合を示した指標）のその達成状況を、下段には、参考として、それぞれの主な取組事例をピックアップしたものを掲載しております。

まず、経営課題1「繰り返し訪れたくなるにぎわいのまちづくり」の「1－1にぎわい」については、アウトカム指標である中央区役所と商店会、企業、関係団体等が協働で発信するまちの魅力情報発信コンテンツの閲覧数が令和5年度実績以上に対し、令和6年度の閲覧回数は59万1,922回と前年度実績46万5,487回から約27%上回り、アウトカム指標は達成したものと評価しております。

続きまして、4ページをご覧ください。経営課題2「安全・安心で快適に暮らせるまちづくり」の「2－1防災」ではアウトカム指標の区内マンションと防災に関わる支援等のアクションにつながった回数が令和9年度末までに延べ200回以上に対し、令和6年度実績は延べ174回となり、順調に進捗しており、アウトカム指標は達成したものと評価しております。

5ページをご覧ください。同じく経営課題2の「2－2防犯・環境浄化」では、アウトカム指標のまちの環境美化活動に参加したボランティアの数が年、延べ1,000人以上に対し、1,129人の方に参加いただくことができました。アウトカム指標は達成したものと評価しております。

6ページをご覧ください。経営課題3「子どもの未来をみんなで育むまちづくり」の「3－1子育て」では、アウトカム指標の区内保育施設等との連携により、新たに見守りや支援につながった子ども・世帯数が令和9年度末までに延べ70件以上に対し、令和6年度実績は延べ182件と目標を大きく上回っており、アウトカム指標は達成したものと評価しております。

7ページをご覧ください。同じく経営課題3の「3－2子どもの学び」では、アウトカム指標の登校支援等を実施した児童生徒に継続的な登校の再開や不登校の状態の改善が見られる割合が令和9年度末までに50%以上に対し、令和6年度実績は、80%と目標を上回っ

ており、アウトカム指標は達成したものと評価しております。

8 ページをご覧ください。経営課題4「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」の「4－1 地域コミュニティ」では、アウトカム指標の区役所や地域とつながりができたマンションの数が令和9年度末までに延べ100棟以上に対し、令和6年度実績は延べ54棟となりました。目標に向けて順調に推移しており、指標は達成したものと評価しております。

9 ページをご覧ください。同じく経営課題4の「4－2 地域福祉」では、アウトカム指標の地域福祉コーディネーターによる新たに見守りを行った人数が令和5年度実績以上について、5年度実績261人から315人と約21%増加しており、アウトカム指標は達成したものと評価しております。

議題（1）の説明については以上です。

【前田（葉）委員】

ありがとうございました。次に、議題（2）の「中央区将来ビジョン2023-2027の改訂」について、区役所より説明をお願いします。

【三島区政企画担当課長】

それでは、中央区将来ビジョン2023-2027の改訂について説明いたします。

中央区将来ビジョンの改訂については、前回の3月の区政会議において、見直しの案をご説明させていただき、ご意見等をいただいたところです。

前回、お示しした（案）について、その後、さらに精査を行い、「将来ビジョン2023-2027【2025年中間見直し版】」として、新区長の下、4月に公表いたしましたものが、資料2－1となります。

本日は、前回の区政会議でお示した案からの主な変更点について、資料2－2を用いてご説明させていただきます。

表紙をめくっていただき、下のページ「柱の構成の見直し」をご覧ください。

左側が、前回、3月にお示した案、右側が改訂後の4月策定のものとなっております。

主な変更点としましては、前回の案では、「柱1 繰り返し訪れたいくなるにぎわいのまち」において「1－2 防犯・環境浄化」としていたものを、右側「1－2 環境浄化」、次の段の柱2の「2－2 防犯・交通安全」に分け、柱建ての変更を行うとともに、記載内容についても合わせて整理をいたしました。文言に変更があったものは、変更後の文章に下線を付してございます。

めくっていただいて、次のページからは、記述の見直し部分を記載しております。左側、案の8ページ「私たちがめざす将来像」については「世界中の人たちが、繰り返し訪れたいくなる にぎわいのまち」、「つながり、支え合う、ずっと暮らし続けたい ふれあいのまち」といたしました。

また、次のページの基本方針について、前段の状況等を割愛し、後段の方針の部分のみの

記載としました。

次に、めくっていただき、下のページの左側、案の 14 ページについて、冒頭でもご説明のとおり、右側上段の「1－2 環境浄化」と下段「2－2 防犯・交通安全」に整理し直し、「2－2 防犯・交通安全」については、戦略の方向性の記述の内容も右側下線部の内容に見直しを行いました。

以下につきましては、記述の見直しによる、内容の大きな変更はございませんので、ご参照のほどよろしくお願いいたします。

議題 2 の説明については以上です。

【前田（葉）委員】

ありがとうございました。

続いて、議題（3）の「令和 7 年度中央区運営方針」について、区役所より説明をお願いします。

【三島区政企画担当課長】

「令和 7 年度運営方針」についてご説明いたします。

資料は、資料 3－1「令和 7 年度中央区運営方針」（HP 公表資料）、資料 3－2「令和 7 年度運営方針について」の 2 点でございます。資料 3－2 を用いてご説明をさせていただきます。

先ほど、ご説明しました「中央区将来ビジョン 2023-2027【2025 中間見直し版】」における、柱建ての変更に合わせて、令和 7 年度運営方針につきましても、前回の区政会議でご説明した案から、取組項目の変更を行いました。また、本資料では、アウトカム指標に記載の令和 6 年度実績について、公表の時点では見込み数値となっていたものについて、確定数値に更新しております。

こちらにつきましても、前回からの主な変更点についてのご説明とさせていただきます。

それでは、3 ページをご覧ください。こちらは、経営課題 1 の環境浄化に関する取組となります。主な行動計画について、令和 7 年度より新たに取り組む「中央区クリーンアップデイ」を追加しています。毎月 24 日を「中央区クリーンアップデイ」と称し、ボランティアを募集し、一緒にまちをきれいにする取組を進めてまいります。

次に 5 ページをご覧ください。こちら中央区将来ビジョンの改訂に合わせ、前回ご説明時には、経営課題 1 にございました「防犯・環境浄化」から、防犯を経営課題 2 に整理しました「防犯・交通安全」の取組となります。

こちらにつきましては、将来ビジョンの改訂に合わせて、主な戦略について、警察署と連携して防犯啓発活動を実施するとともに、子どもに対する犯罪を防止するなど、安全・安心なまちづくりに取り組むこと、警察署や交通安全協会等との関係機関と「交通事故をなくす運動」推進本部を組織し、交通安全及びマナーアップに向けた啓発キャンペーンや交通安全

教室の実施について、記載しました。

また、新たに、アウトカム指標として「地域団体及び学校園等における防犯・交通安全講座参加者数が前年度実績以上」を設定しました。

以下につきましては、前回の区政会議でご説明させていただいた内容から、変更点はございませんので、説明については割愛させていただきます。

ご説明は以上です。

【前田（葉）委員】

ありがとうございました。

区役所から説明があった議題へのご意見やご質問は意見交換の場や全体会の場でお聞きさせていただきます。グループ編成については、前回と同様とさせていただいています。それでは、これより各グループに分かれて意見交換をしていただきます。再びこちらのお席には19時45分を目途にお戻りいただく予定です。

それでは、移動する委員の皆さまは移動をお願いします。席札はそのままです。区役所の方、案内をお願いします。

（グループ別の意見交換）

【前田（葉）委員】

それでは、皆様お揃いになられましたので、続けてまいりたいと思います。

それではまず、各グループで出ました意見をグループ代表者の方から発表していただきたいと思います。

まずはにぎわい・環境グループの三島課長、発表をよろしくお願いいたします。

【三島区政企画担当課長】

にぎわい・環境グループでは、「環境浄化に対する意識向上に向けた取組について」というテーマで意見交換をさせていただきました。

そういった中で、ごみのポイ捨てであったり、違法駐輪であったりというような、いろいろなご意見が出ました。

駐輪問題について、一般の方の利用というよりも、事業者さんの従業員等による夜間駐輪が多いといったご意見があり、事業者と行政が連携して取り組まないといけない、罰則を厳しくするだけでは難しい問題だというお話もありました。

また、パトロールなどもあれば抑止力になるというご意見も出ております。

ごみのポイ捨てについても、普通のごみのポイ捨てだけではなく、不法投棄、また閉店後のお店の前や、道路や住宅の前などにも増えてきているというご意見がございました。

取り組みといたしまして、企業・会社等での周辺の清掃のボランティア活動をいろいろな

企業等が地域と連携して実施しており、こういった取り組みも必要だというご意見がございました。

綺麗な所ではごみを捨てにくい、駐輪もしにくいということもありますので、例えば、ごみを捨てられやすいところにアートやお花を配置するような、人が捨てにくい、捨てたくないという心理が働くような工夫をしてはどうかという意見、にぎわいなどとも連動しながら、実験をしてみても良いのではないかという意見、規制ではなくて楽しさがあるような取り組みも良いのではないかという意見、非常に汚れている場所をまずは知ってもらうということが大切で、例えば、小学校の課外授業で、生徒さんからご意見をもらったり、何か実験をしてみるような長いスパンで取り組んでいくことが必要なのではないかというご意見もありました。

駐輪場、違法駐輪につきまして、駐輪場を増やすということは中々難しいかもしれないけれど、例えば、定期の月極の駐輪場であっても、空いているところについては一般利用に使うことができるようなシステムができないか、ごみを捨てやすいところに看板やポスターを設置することで効果が見られたという事例もあるので、有効な取組なのではないかというご意見がございました。

【前田（葉）委員】

はい、ありがとうございます。

続きまして、防災・安全グループの平田課長、発表をお願いいたします。

【平田総務課長】

防災・安全グループの発表をさせていただきます。

防災・安全グループは、テーマを「マンション防災を軸とする意識醸成とつながりづくり」としましてご意見を伺いました。

まず区役所からは、9割の方がマンション等の共同住宅に住んでおられて、そこからさらに増えてくる見込みである。そうした中で、いろいろな取り組みをしているけれども、アンケートによると、備蓄について、水は大体の方がしている、まあまあの方がトイレの備蓄をしていて、食料の備蓄をしている人はまだまだという状況なので、どのようなことを、どのようにアプローチしていくか、自助の重要性をどうアプローチしていくか、ひいては、やはりつながりづくりということが、大変重要でございますので、マンションにどうつながっていくのかということをぜひご意見をいただきたいということで進めさせていただきました。

まず出た意見として、区役所が作成しております町会加入のチラシ、また、広報紙で非常にインパクトのある防災特集を組んでいるのですが、それを見ていただいたところ、町会加入のチラシについてはとても良い取り組みであるが、さらにこれに地図を入れてどこにお住まいなのかを視覚的に分かりやすくする、またそれがそのまま町会加入の申し込みにもつながるようなさらなる工夫をしていただければ、より良いのではないかというご意見をい

ただいております。

アプローチにつきましては、マンションの管理組合にアプローチするのも良いのですが、個人にアプローチした方が良いのではないかと、若い人はインターネットなどを通じて直接アプローチした方がいし、高齢者などインターネット環境のない方に向けては、従来通りの広報紙や写真などを使用して、タイミングをしっかりと考え、ターゲットを分け、それぞれやっていけば良いのではないかとというご意見をいただきました。

広報のタイミングも、震災の後や台風の後といった非常に興味が高まっているところに合わせて発信ができるように準備をしておいた方が良いのではないかとというご意見をいただいております。

また、大規模マンション以外の中規模のマンションについては、町会と一緒に訓練しているということをもっと目につくようにすれば、他のマンションにも効果が波及するのではないかとというご意見をいただいております。

マンション内での交流ということはどうしても少なく、今後外国籍の方も増える中、マンション理事会などに出ていただくことが難しいといった課題が出てきているという状況を共有していただきました。

そうしたことを踏まえまして、行政では難しいところもあるしれないが、もっとチラシや動画等のいろいろな広報ツールを作っていくときに、キャッチコピーやインパクトという直接的に響くような広報を思い切ってしていけば良いのではないかとというご意見をいただいております。

最近の課題として、どうしても町会については、長く住んでいる方が中心にしていますので、防災リーダーも若い方になっていただけていないという状況があるので、そういうところを今後地域の皆様と知恵を絞りながら、若い方に防災リーダーになっていただくような取り組みを考えていって欲しいというご意見をいただきました。新しい課題としまして災害時、フェイクニュースがあつという間に広まってしまうということで、今すぐどう解決するのかという問題はありますが、非常に新しく重要な課題ではないかとというご意見をいただいております。

テーマについては以上で、これ以外につきましては、「電動自転車・キックボードのルールについて」、また「ミナミ地区の外国人対応について」というテーマでも意見交換をしました。特に路上喫煙については対策をしていく必要があるということで、喫煙所等については設置場所をしっかりと考えて欲しいというご意見をいただきました。

以上でございます。

【前田（葉）委員】

ありがとうございます。

次に、子育て・教育グループの皆川課長、よろしくお願いします。

【皆川窓口サービス課長】

子育て教育グループの意見を発表させていただきます。

このグループでは、「外国につながるのある子どもたちの学びについて」というテーマで話を進めさせていただきました。

皆様もご承知だと思いますけれども、中央区は非常に外国につながるのあるお子様が多く、特に多い学校では、6割の児童の方が外国につながるのあるお子様であるという状況です。

外国につながる子どもは、当然今は日本で暮らしているので、日本語も学ばないといけないのですが、やはり母語も非常に重視しておりますので、母語も重視しながら、加えて一般の勉強もしなければならないという状況になると、残念ながらおのずと公立学校間でも学力の差が生じることとなり、学校選択制で外の学校を選ぶというような事象もあると聞いております。

そういった問題もあるのですが、例えば外国語の指導が他の学校よりも優れているのであれば、思い切ってその特徴を活かし、インターナショナルスクールに切り換えて、他校と差別化を図った魅力ある学校を目指す方針はどうだろうかというご意見もいただきました。

当然、簡単にできることではございませんし、長いスパンでの教育方針、計画というものが必要であろうというご意見も頂戴しております。

子どもたちは比較的、言葉などの学習が身につくことは早いかと思うのですけれども、やはり親御様がなかなか日本の生活に慣れずに、同胞のコミュニティが確立してしまい、日本社会に馴染みにくく、学校からのお知らせなどもなかなか理解をしていただけないというような問題なども考えられるというご意見をいただいております。それに対しましては、地道な方法ではありますが、例えば、運動会とか地域での餅つき大会などの行事を通して、横のつながりを醸成するような方法があるのではないかとご意見も頂戴いたしました。

全体的なお話にはなりますけれども、区内での児童生徒数の偏りというようなことも心配でして、一般的には1学年20名以下ということになりますと、廃校の問題も懸念されますので、通学区域の編成なども検討、再編するようなことも必要ではないか、また、教職員の方の激務もよく聞かれるところでございますので、たくさん外国につながるのあるお子さんがいる学校では、サポーターの方も一層活用し、もっと対応を強化していただいて、課題の軽減を図ることができるのではないかとご意見も頂戴しました。

【前田（葉）委員】

ありがとうございます。

最後になりましたが福祉・健康グループの上野課長、よろしくお願いします。

【上野国保収納担当課長】

福祉・健康グループのテーマは「中央区地域福祉ビジョンの改訂」についてです。

ちょうどこのビジョンは 2023 年から 2025 年のものということで、現在改訂時期に入るタイミングですので、改訂に盛り込めるような内容であるとか、現在のビジョンについてご意見をいただきたいということで、グループディスカッションさせていただきました。

基本目標 1 では、地域づくりであるとか人のつながりづくり、協働における地域活動の推進についてご意見いただいた中では、実際に地域での行事や企画が高齢化の進展によってなかなか進まないということと、住環境が高層化してマンションになっていくことによって、なかなかその人たちとつながりが持てないという状況があるのでそれを考えながらビジョンは作っていかないといけないのではないかというお話をしていたところです。つながりをつくる時に、昔校区が狭かった学校が広くなることで、親御さんと生徒さんとかの顔が見えにくくなっているというような問題もあるという話もありました。一朝一夕にはこれは答えが出る問題ではないので、今までとは違う方法を区と地域が一緒になって考えていかなければいけないのではないかという意見をいただいたところです。

基本目標 2 「様々な支援がつながる包括支援体制の構築」について、包括支援体制がいろいろある中で、認知症の人が使える取り組みの推進とパンフレットには書かれておりますが、まずその前段階の介護予防の内容から盛り込まれたらいかがですかというご意見をいただいたところです。それに関する情報の発信であるとか、情報提供の方法なども盛り込まれるといかがですかという意見もいただきました。

100 歳体操であるとか地域で活動して展開していく中で、男性の参加者が少ないということもあるという実情のご説明がありましたので、男性の方々にも P R できるような内容も含めて発信の仕方がないかというご意見をいただいたところで、それらを盛り込んだビジョンを考えてまいりたいということになりました。

【前田（葉）委員】

ありがとうございました。

各グループの意見を共有させていただきましたが、その他委員の皆さんからご意見やご質問をお伺いしたいと思います。ご発言の方は挙手をお願いいたします。

特にございませんでしょうか。

区役所から何かございますか。

【三島区政企画担当課長】

特に他の議題はございません。

【前田（葉）委員】

ありがとうございます。

それでは助言者としてご出席いただいております、市議員の方からも一言ずつ頂戴したいと思います。

まず初めに野上議員よろしく願いいたします。

【野上議員】

本日も遅くまでありがとうございます。

今日も 4 グループ、10 分ずつほど全体的に拝見させていただいておまして、皆様その中で活発な議論をしていただき、参考にさせていただきました。

中央区ならではの課題というものが山積していると思いながらも、その課題が区役所単位では解決が難しいものも多いのではないかと思います。聞きながら聞いていたのですけれども、中央区役所の職員はすごく柔軟で活発に行動してくださる方が本当に多いのと、いつもお話しさせていただきながら思っています。

区役所単位では難しい課題もあることをお伝えさせていただいたのですけれども、市役所の部局などと連携しながら進めてくださっていることも多いです。引き続き皆様のご意見を参考にしながら、区役所だけでは難しいときには市役所と連携したり、あるいは大阪府と連携したり、あるいは国の補助活用をしたりだとか、そういう連携しながら進めていっていただけたらと思いますのでお願いいたします。

最後に 1 件だけ、最初にオンデマンドバスのお話があったと思うのですが、このオンデマンドバスは、今大阪市内 24 区ある中で全部に広がっているわけではなく、中央区はすごいと思ったのですけれども、先行してまず進めている事業なので、まだ 7 区とかそれぐらいのところでは行えていないです。

活用しだすとすごく使いやすいっていうお声が、市内でも多く聞こえてきていますので、ここに来てくださっている皆さんは中央区内で様々な場所に行ってくださいと思っているので、ぜひ活用していただいて、周りの方にもすごく便利なので伝えていただけたらと助かりますのでよろしくお願いいたします。

【前田（葉）委員】

ありがとうございます。

続きまして塩中議員お願いいたします。

【塩中議員】

皆様遅くまでありがとうございました。

日頃から課題を持って取り組まれている皆様と、担当の課が 40 分間話すことでこんなにリアルで具体的な内容になってくるのかと、感動と感心させていただいております。

以前に比べれば具体的な内容が盛り込まれており、多くの方々のおかげで中央区が良くなってくるという希望を感じさせていただきました。

【前田（葉）委員】

ありがとうございます。

続きまして鈴木議員お願いいたします。

【鈴木議員】

今日は皆様遅くまでありがとうございました。

中央区という独特なまちづくりの中で、外国人への対応、町会の活性化、防災の強化、今ご意見いただきましたけれども、地域包括ケアシステムに伴う包括支援体制の強化、そういういろいろな課題があるのですけれども、これらの問題の連携をするには、様々な国の方、様々な年齢層の方々とのつながりとか、その人たちが実際に参加し、参加を促すことが大切であると皆様のご意見を聞き思いました。

この課題の解決のキーポイントを私なりに考えさせていただいたのですけれども、やはり地域の絆、人との絆が本当に一番大切だということをこの場で教えていただいたと思っています。

この議論を参考に、私どもも市会で取り組んでまいりたいと思います。

【前田（葉）委員】

ありがとうございました。

委員の皆様、また区役所の皆様、長時間にわたり誠にありがとうございました。

これをもちまして、本日の区政会議を終了したいと思います。

なお、2年間議長を務めさせていただきました前田は今回で最後になります。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

【三島区政企画担当課長】

ありがとうございました。

最後に松田区長よりご挨拶申し上げます。

【松田区長】

皆様、本日は長時間にわたり、遅くまで活発なご議論、ご意見いただきましてありがとうございました。

まさに立案段階からの意見の把握をさせていただくということで、非常に良い場だと認識させていただきました。

今後の取り組みへの反映、あるいは取り組みの質の向上、良いアイデアをぜひ反映していきたいと思いました。

また、助言者の議員の皆様も、アドバイスありがとうございました。

先ほども前田委員からもございましたけれども、本年度は区政会議委員の改選の年となっておりますため、今現在の委員の皆様での会議は今回が最後ということになる予定でござ

います。

皆様方におかれましては、この間貴重なご意見を多数頂戴し、誠にありがとうございました。

現在の任期をもって、委員をお離れになる方もおられます。次の任期も引き続き委員としてご参加いただける方もおられるかと思えます。いずれにいたしましても、本任期中はお忙しい中多くの貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました、厚く御礼を申し上げます。

前田委員におかれましてはこの間議長として、区政会議の円滑な運営をしていただきました。誠にありがとうございます。

皆様方には引き続き、委員であられても、離れられても中央区の区政に対して、様々な場面でお力添えをいただければありがたいと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。

本日は本当にありがとうございました、今後ともどうぞよろしくお願い致します。簡単でございますが終了の挨拶とさせていただきます。

【三島区政企画担当課長】

前田議長をはじめ、委員の皆様、長時間にわたりご議論いただきまして、ありがとうございました。

また、皆さま、本任期中は誠にありがとうございました。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

それでは、以上をもちまして、令和7年度第1回中央区区政会議を閉会させていただきます。

アンケートにつきましては、お帰りの際に係の者にお渡し願います。

お帰りは、1階、エレベーターを降りて左側の「時間外通用口」をご利用ください。

本日は、ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。